

## 〈使用上のご注意〉

※絵表示は注意事項を示すものであり、実際の形状とは異なっています。



取扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性があります。

### 火気厳禁

- テント内では、ガス・ガソリン・灯油・木炭などの燃焼物や燃焼器具を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒の危険があります。
- タバコやキャンドル、ホットカーペットなどの熱源の取り扱いには十分注意してください。テント生地の損傷や火災の危険があります。
- テントに裸火などを近づけたり、テントのそばで焚き火や花火などをしないでください。テント生地の損傷や火災の危険があります。
- 強風や豪雨などの悪天候時や、それらの状況が予測される場合には使用しないでください。テントの破損や事故につながる危険があります。
- 開けた場所や大木の下、崖などで近く、水際や波打ち際での設営はしないでください。落雷、落石や土砂崩れ、増水や高波の危険があります。
- 本品は、キャンプ地での使用を前提に企画致しております。常設用や山岳用としては使用しないでください。テントの劣化や破損、事故につながる危険があります。
- 寒冷期や降雪時には使用しないでください。気温が2°C以下になると降雪の可能性があり、テントの埋没や破損、事故につながる危険があります。



取扱いを誤ると、負傷または物的損害が発生する可能性があります。

- 凸凹や段差のある所、石・岩・木の枝などの鋭利なものや突起物があるところでは設営しないでください。破損や穴が空くなどの原因になります。
- テント設営の際、ポールやペグ・ハンマーなどの取扱いにおいて、周囲に危険がないように十分注意してください。特に乳幼児にはご注意ください。
- 組立・収納の際は、たたんだ状態のポールを落としたり、テント生地に引っ掛けないように十分注意してください。ポールの連結コードやテント生地が損傷する原因になります。
- 設営完了後は、テントの変形や生地がたるんでいないことを確認してください。ループにたるみがある場合など、雨天時に雨水がたまりテントが破損するなどの原因になります。
- 雨天時にテント内から生地に触れたり、物を立て掛けた場合など、雨漏りを誘発する可能性があります。
- 直射日光の当たる場所や高温になる所、屋外に放置しないでください。テント生地や樹脂部品の劣化、金属部品が錆びるなどの原因になります。
- テント生地の色は、使用状況や頻度により、徐々に退色する可能性があります。
- 使用後は、テント生地の汚れをナイロンブラシなどで落として日陰でよく乾燥させ、ポールなどの各部品は、汚れや水気をよく拭き取ってください。汚れや水気・湿気は、テント生地の色落ちやカビ、金属部品にサビが発生するなどの原因になります。

※誤った取扱い・設営や使用状況・加工や改造などによる損害・事故、経年変化などによる各部品の損傷・劣化・サビや腐食の発生などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※商業施設での使用やレンタル業などで使用しないでください。不特定多数の方が使用されるため、責任を負いかねますのでご了承ください。

※レンタルなどによる貸出し、オークション等による転売や中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損害・事故などにつきましては、一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

- お出かけ前に一度組み立てて、部品点数などを確認してからご使用ください
- 製品改良のため、外観および仕様は予告なく変更することがあります。

輸入販売元 コーナン商事株式会社  
大阪府堺市西区鳳東町6丁637番地1  
MADE IN CHINA  
19tp-aug

## 取扱説明書

SOUTHERNPORT

# ワンポールテント

型番 SP23-9683

サイズ(約) 300×250×高さ180(cm)

この度は、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。また、取扱説明書はいつでも再読できるように大切に保管してください。

## 〈アドバイス〉

- 設営場所は、平らで水はけがよく、風当たりの弱いところを選び、小石などは取り除きましょう。
- 堅い地面や砂地など、地質や地面の状態に適したペグを使用しましょう。
- 予備のペグやロープなどは常に用意するようにしましょう。
- ペグやガイドロープ、テントの張り具合はいつも点検するようにしましょう。
- インナーテントフロアの下には、グランドシートより少しこの下のレジャーシートなどを敷くようにしましょう。汚れや傷が付きにくくなります。
- 生地は直射日光により劣化し、色あせや裂けを引き起こします。生地の寿命を伸ばすために長期間に渡る連続使用は避けましょう。
- 雨天時や人間の呼気・体温などで起こる内外の温度差により、テント内に結露が生じます。時々換気を行えば、結露がある程度防ぐことができます。
- 生地の汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤をスポンジに付けて落とし、洗剤分を拭き取ってから自然乾燥させてください。ドライクリーニングや乾燥機の使用はしないでください。
- テント生地の撥水性は永久的なものではありません。使用する前など、必要に応じて市販の防水スプレーなどを使用してください。
- テント生地に小さな切れや裂けが生じた場合は、市販のリペアテープなどで修理してください。
- 使用後は、ポールなどのスチール製品に市販の防錆スプレーなどを塗布し、収納バッグに入れて屋内の乾燥したところに保管してください。

## 仕様

サイズ(約)	300×250×高さ180(cm)
材質	天幕: 185Tポリエチレン(PU1000mm) ポール: スチール インナーテントフロア: 150ポリエチレン(PU1000mm)

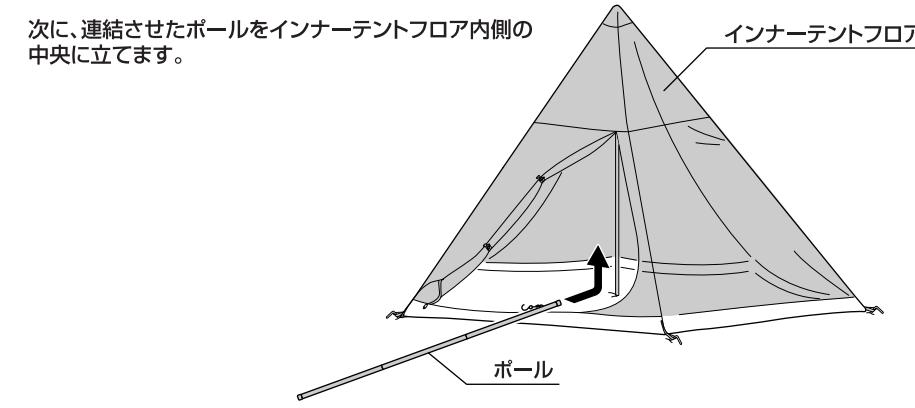
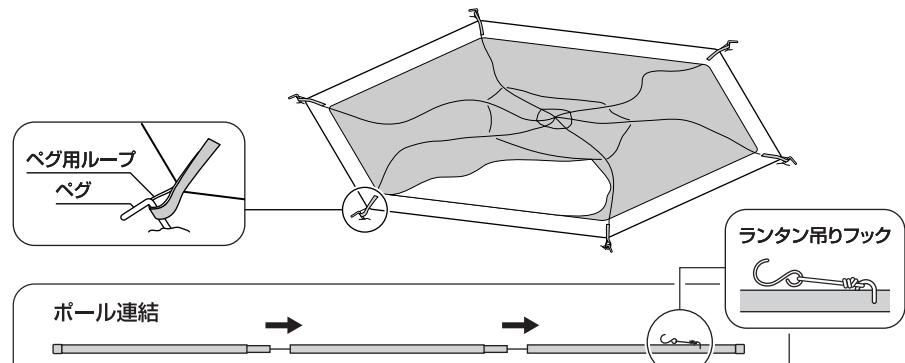
付属品／ペグ、ガイドロープ、キャリーバッグ

## 設営方法

※設営は、必ず大人二人以上で行ってください。※安全のため軍手や手袋などを着用してください。

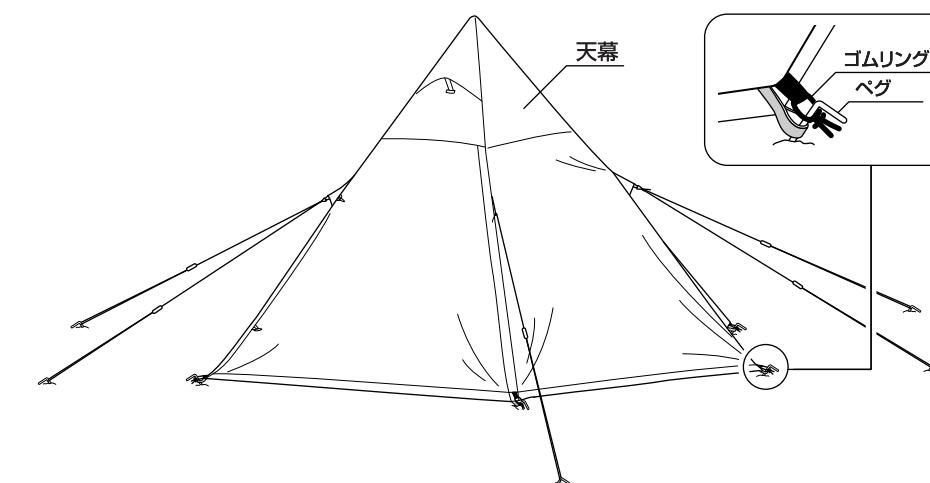
### ①テント本体の組み立て

できるだけ平坦で石や岩の少ない場所を選び、インナーテントフロアを広げます。  
ペグ用ループをペグで固定し、出入口を開けます。

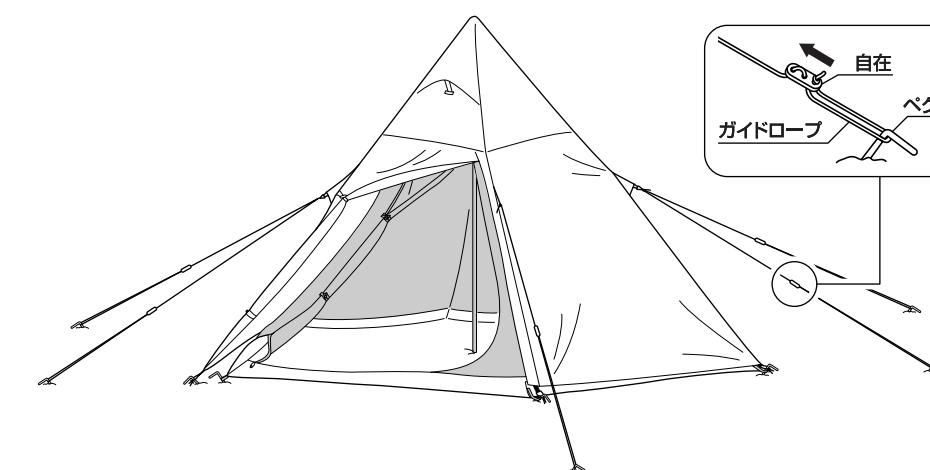


### ②天幕の張り付け

天幕をインナーテントフロアに被せ、ゴムリングをペグに掛けます。



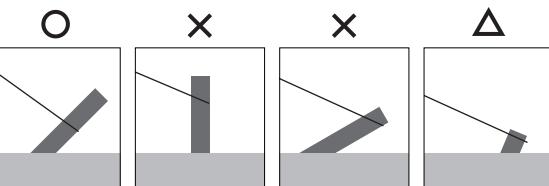
ガイドロープをペグで固定し、自在でロープの張りを調整したら設営は完了です。



## ペグ・ガイドロープの固定方法

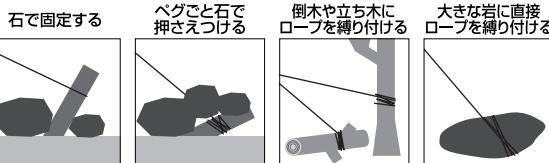
### ペグは斜めに打ち込む

図のように、地面に対してペグを斜めに打ち込みます。斜めに打ち込まないと、ロープの引っ張る力で抜けてしまいます。また、しっかりと固定できれば、必要以上に根元まで深く打ち込まなくても大丈夫です。撤収する際に抜けなくなって困ります。



### うまくペグを打ち込めない場合は

地面に大きな岩があったり、地面がかたくてうまくペグを打ち込めない場合、あるいは土が柔らかすぎてペグが効かない場合には、次のような方法があります。



設営・  
撤収時  
の注意

- たたんだ状態のポールを落としたり、ぶつけないように十分注意してください。ポールが変形や破損する恐れがあります。
- 天幕の上にポールやペグなどを落としたり、引っ掛けたりしないように十分注意してください。生地が損傷する恐れがあります。
- 設営や撤収は、必ず大人二人以上で行ってください。一人で行うと無理な力が加わることがあり、ポールが変形や破損したり生地が損傷する恐れがあります。
- 設営や撤収は、ポールの継ぎ部などで指や手を挟まないように十分注意して行ってください。

※安全のため軍手や手袋などを着用してください。

※イラストはイメージです。